

ESD ユネスコ世界会議交流セミナー報告書

団体名 環境省地球環境局国際連携課

【ESD ユネスコ世界会議の成果】

〔講演タイトル〕

Beyond GDP～包括的豊かさ指標 (IWI) とは？～

〔タイムスケジュール〕

15:30 開場
16:00 開始・主催挨拶
16:10 馬奈木氏講演『包括的な豊かさの指標とは』
17:00 質疑応答
17:25 総括
17:30 終了

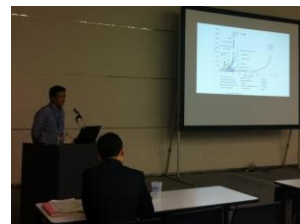
〔講演概要〕

- GDP 以外の指標として幸福度、生活の質、富が提唱されてきた。ところが幸福度や生活の質はアドホックで政策インプリケーションに乏しいという問題があった。そこで富が注目されている。
- 現在から将来における効用の現在価値であるストックを見ればよい。GDP はフロー指標であり、ストック指標を補完するものである。ストックを見る指標として、国富は内閣府の国民経済計算等で既に計算されているが、物的資本しか計上されていないという問題があった。そこで自然資本、人的資本も含めたストックを新しい国富として測るようになった。
- IWI は、既存の国富と対比して「新国富」と訳すことにした。たとえばインドは、GDP が伸びている国として認知されている。ところが、人工資本の増加と自然資本の減少が相殺されて、新国富としては微増しているにすぎない。
- 留意点として、IWI では、大きな災害等による資本の低減は考慮できていない。よって大規模災害が起こった国の実際の資本評価額は過大評価との指摘があり、今後の課題である。
- 資本は人の評価によって価値が決まる。一方、人の評価は時期・時間によって変わる。IWI は人の評価の時系列による移り変わりを加味している。
- (ミレニアム開発目標と持続可能な開発目標 (SDGs) の違いを説明の上で) SDGs と IWI はリンクしていくようになってほしい。IWI が政策とリンクすることで、より良い政策決定プロセスへとつなげることができる。

主催の環境省 水嶋氏のあいさつ



馬奈木氏の講演



聴衆の様子



【今後の展望】

- IWI はその国の価値をより正確に把握できる画期的な指標。これにより人々の、その国を捉える視野が広がることが期待される。
- 我が国が大切にしてきた自然環境を慈しむ心や「もったいない精神」を通じた世界への貢献を、この指標によって評価できる可能性を秘めていると考えている。
- 環境省地球環境局国際連携課では、社会や経済の仕組みを、環境に配慮した持続可能な形にシフトするための政策を、今後も企画・立案及び実施していく予定である。